

2021年10月期 第1四半期 IRミーティング資料

2021年3月23日

 **クマイ化学工業株式会社**

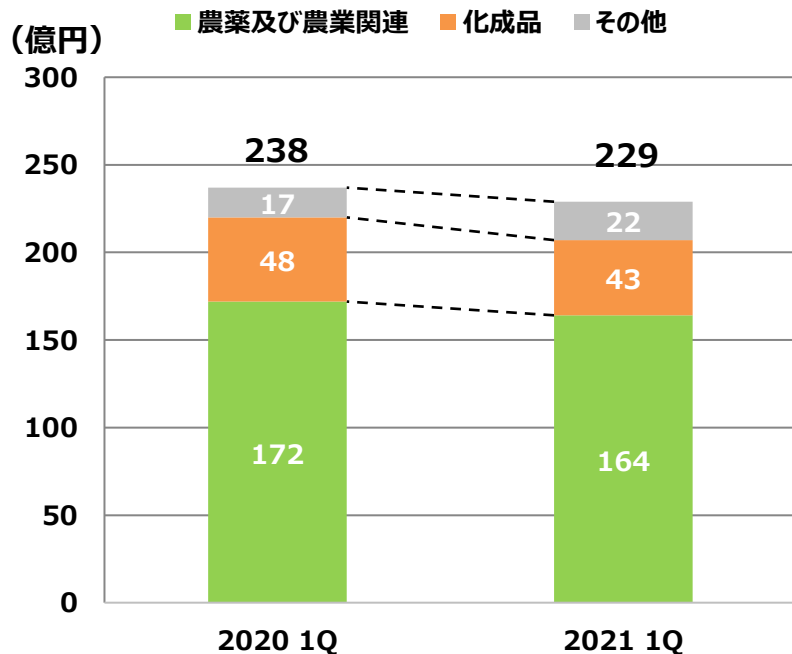
2021年10月期 第1四半期 実績

(億円)	2020 1Q 実績	2021 1Q 実績	前年比	増減要因
売上高	238	229	-9	農薬国内：新剤が好調で増収 農薬海外：出荷計画の影響で減収 化成品：コロナ禍影響で減収
営業利益	16	16	+0	国内の製品構成の改善 販管費の抑制により増益
経常利益	21	20	-1	持分法投資利益の減少
当期純利益*1	14	12	-1	

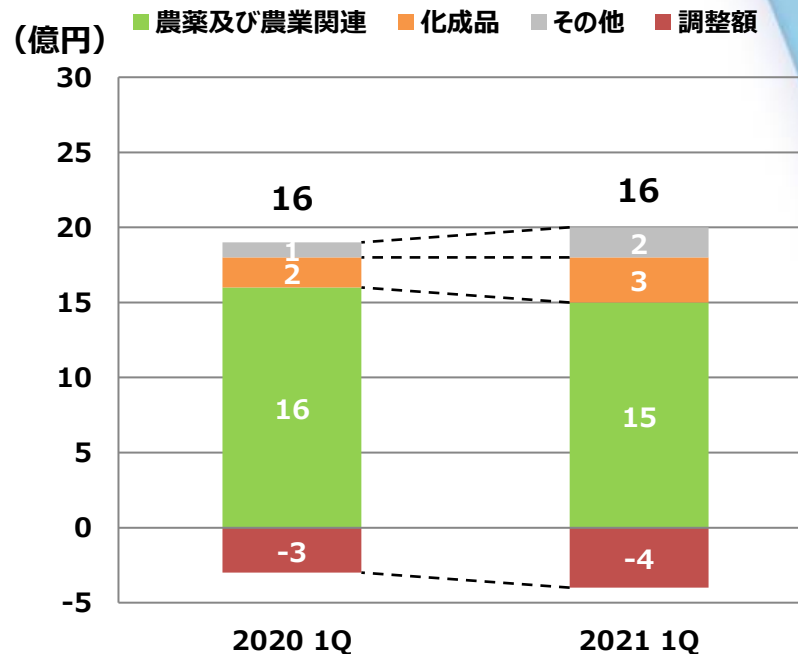
*1親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高及び営業利益

連結売上高



連結営業利益

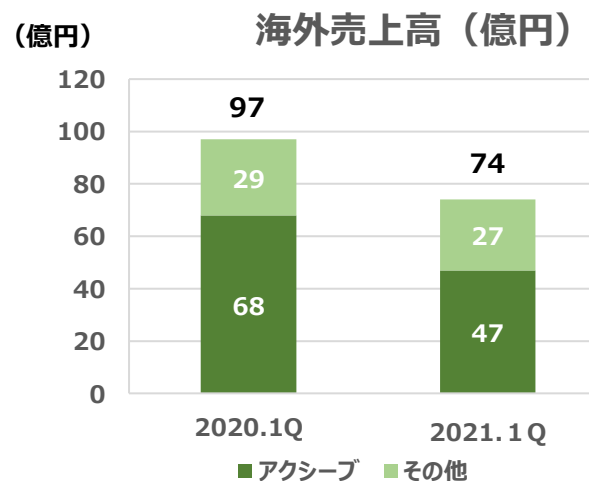
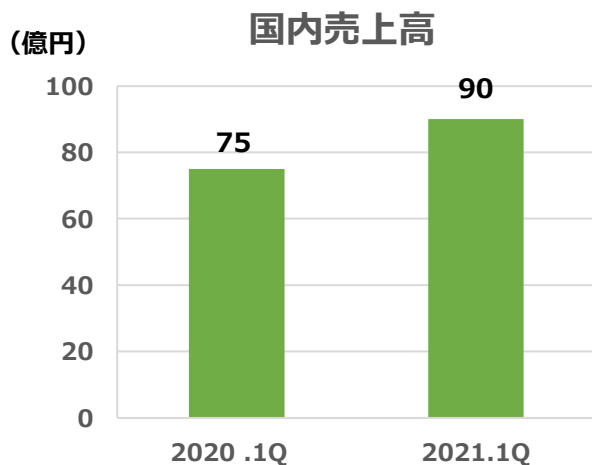


	売上増減	利益増減
農薬及び農業関連	-8億円	-2億円
化成品	-5億円	+1億円
その他	+5億円	+1億円

農薬及び農業関連事業

- ✓ 国内ではエフィード剤、ディザルタ剤が好調
- ✓ 海外では出荷計画の影響で前年比減収

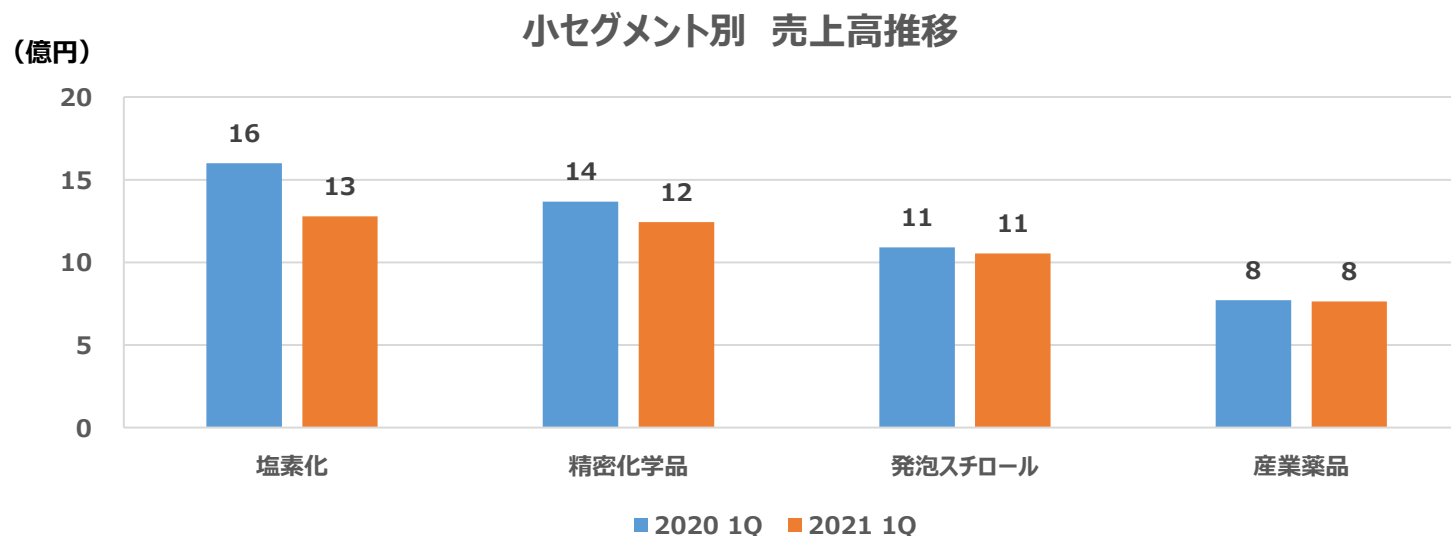
第1四半期の進捗	
国内	前年比15億円の増収 エフィード剤、ディザルタ剤が好調に推移
海外	前年比23億円の減収 アクシーブ：米国は出荷スケジュールの影響で減収 アルゼンチン、ブラジルは好調に推移 全体としては計画線上で推移



化成品事業

✓ 主力事業が引き続きコロナ禍の影響を受けて減収も
販管費削減で増益を確保

小セグメント	第1四半期の進捗
塩素化	引き続きコロナ禍の影響を受け減収
精密化学品	
発泡スチロール	前年並みに推移
産業用薬品	



2021年10月期第1四半期 総括

▶ 事業全体

- ✓ 国内農薬は好調も海外向け減少、化成品のコロナ禍影響もあり減収
- ✓ 営業利益は販管費の抑制によって増益

▶ 農薬及び農業関連事業

- ✓ 国内はエフィーダ剤、ディザルタ剤の牽引により増収
- ✓ 海外はアクシーブの出荷計画の影響で減収
- ✓ Asiatic Agricultural Industries社の株式取得が完了

▶ 化成品事業

- ✓ 塩素化、精密化学品がコロナ禍の影響を受け減収

▶ その他事業

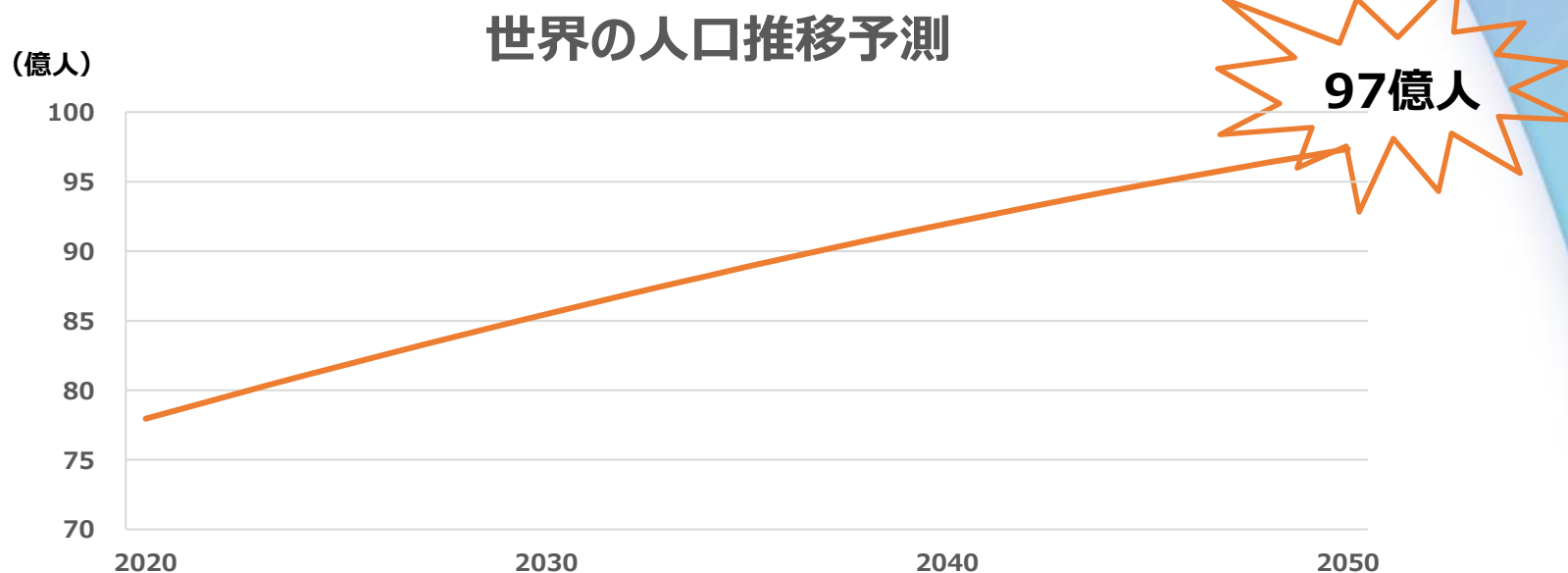
- ✓ 建設事業が繰り越し工事及び進行基準工事の増加により増収

食料生産と農薬の必要性

2021年3月23日

 **クミアイ化学工業株式会社**

人口及び食糧需要の増加



出典 : UN, [World Population Prospects : The 2019 Revision](#)

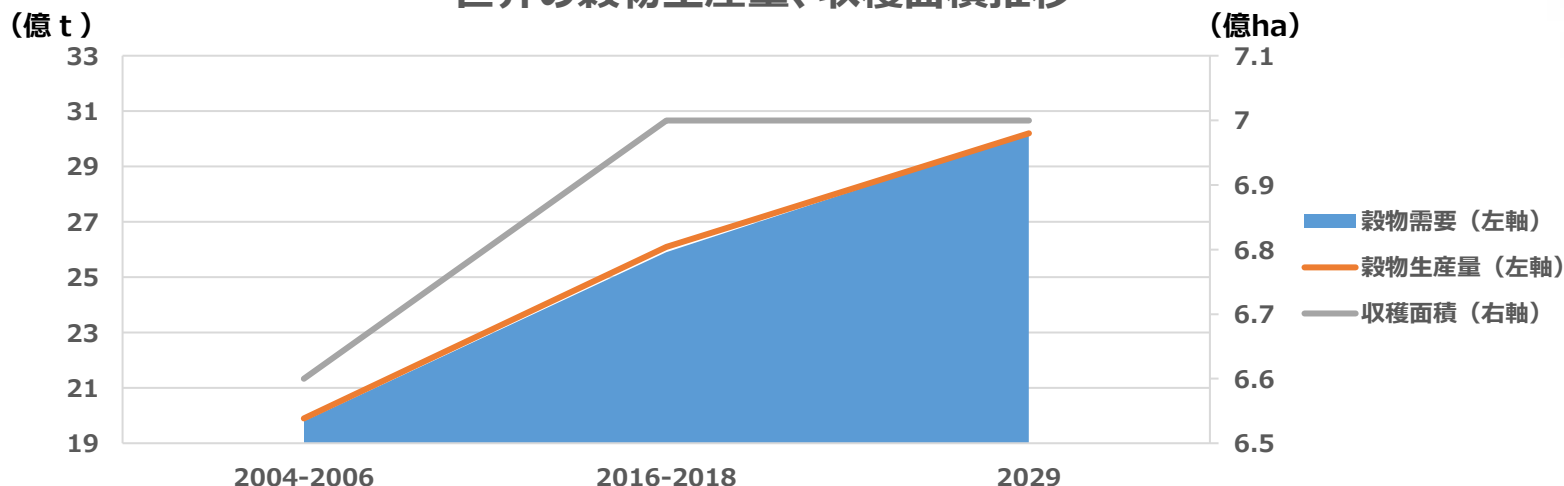
国連によれば世界の人口は今後30年で97億人に達すると予想されている
⇒新興国および途上国を中心に穀物需要の増加が見込まれる
食料、飼料、燃料 etc.

✓人口の増加を支える食料生産は、より一層大きな課題

食糧生産の現状

- ✓ 近年は収穫面積の増加及び単収の増加が生産量増をけん引
- ✓ 今後は自然環境保護など環境面の問題から収穫面積の増加は見込めず、単収の増加による生産量増が必要

世界の穀物生産量、収穫面積推移



出典：農林水産政策研究所 世界の食料需給の動向と中長期的な見通し

生産量の増加には・・・収穫面積の増加、単収の増加

収穫面積の増加→非農耕地の農地化、灌漑設備の整備

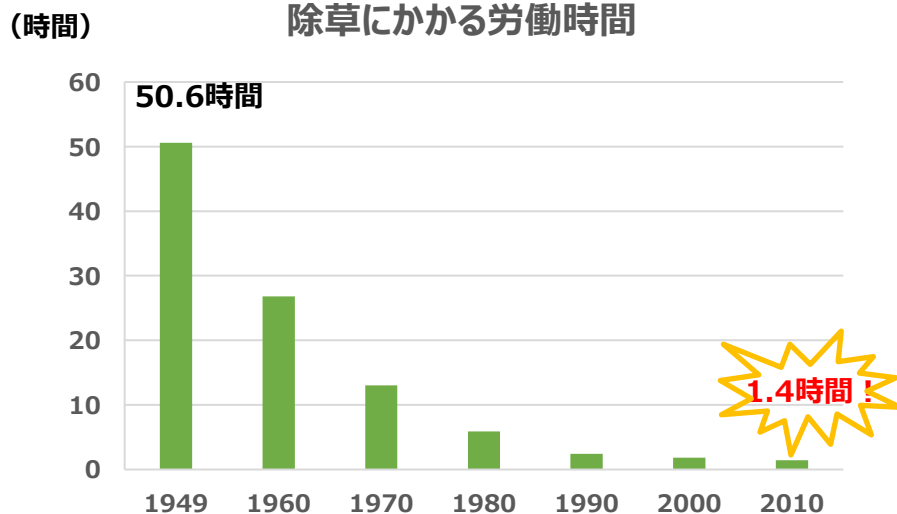
単収の増加→生産技術の向上（品種改良、作物保護技術など）

農薬の役割

農作物を害する病害虫、雑草などから作物を保護、あるいは作物の成長を調整し、農業の生産性を高める薬剤

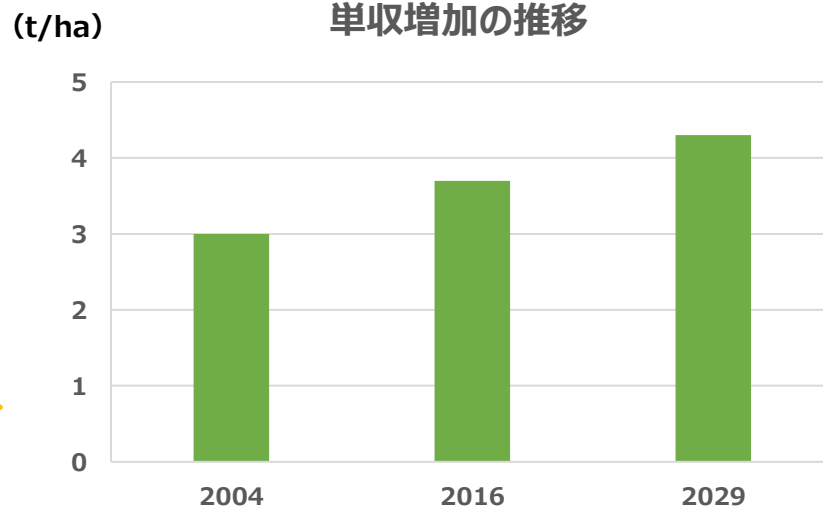
農作業の効率化
収量の増加 = 生産性の向上

日本の水稲栽培で10a当たりの
除草にかかる労働時間



出典：日本植物調整剤研究協会50年史

世界の穀物生産における
単収増加の推移



出典：農林水産政策研究所 世界の食料需給の動向と中長期的な見通し

農薬の安全性・環境への影響

- ▶ **農薬の安全性・環境への影響の評価**
実験動物による毒性試験、環境中での影響をみる試験、残留性に関する試験など、70項目以上にわたる試験によってヒトへの安全性や環境への影響を評価
※国によって制度・基準は異なる
- ▶ **農薬の使用方法の設定**
様々な試験によって得られたデータを基に、ヒトの健康や環境中動植物への悪影響が無いように、作物ごと使用量・使用方法を設定
⇒用量・用法を守ることで安全が確保される
- ▶ **再評価制度**
これまでは3年に1度、製剤ごとに登録の継続の確認を行う再登録制度
⇒15年に1度、最新の科学的知見を用いて有効成分ごとに再評価を行う

✓ 農薬は種々の安全性試験によってリスクが管理されており、
用量・用法を守ることで科学的にリスクの最小化が図られている

※農薬の安全性等については農薬工業会ホームページで分かりやすく紹介されています
農薬工業会ホームページ:<https://www.jcpa.or.jp/>

SDGs への取り組み

企業理念

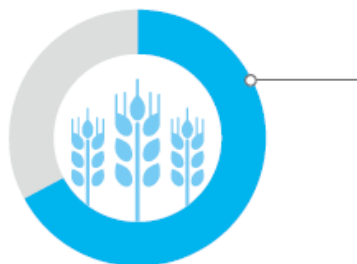
私たちは創造する科学を通じて「いのちと自然を守り育てる」ことをメインテーマとし、安全・安心で豊かな社会の実現に貢献します



1. 貧困をなくそう
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

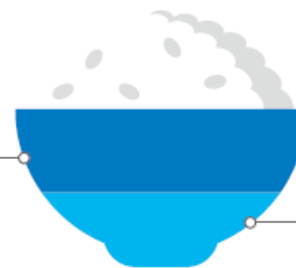


2. 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



3分の2

全世界の極度に貧しい被雇用者に
農業労働者が占める割合



飢餓の中で暮らす人々は、数百万人増加
2017年の時点で、栄養不良に陥っていた人々は
8億2,100万人と、

2015年の7億8,400万人から**増加**

SDGsへの貢献

開発目標への貢献事例



インドにおけるノミニーの普及
画期的な除草剤によって農業生産及び経済成長に貢献

土壌処理剤による初期防除＋手取り除草



土壌処理＋ノミニーによる茎葉処理



余剰労働力による収入の拡大、経済成長



インドで販売されている
ノミニーゴールド



ノミニーゴールドの普及活動



手取り除草の様子



ノミニーの効果（手前は無処理区）

ご清聴ありがとうございました。

自然に学び 自然を守る



WMI

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>

クミアイ化学工業株式会社

経営管理本部 総務人事部 広報・IR課

TEL: 03-3822-5036

FAX: 03-3823-6830

弊社IRサイトもご覧ください <http://ir.kumiai-chem.co.jp/>